

CLOインカムファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／その他資産(ローン担保証券)

日経新聞掲載名：CLOなし

2025年8月13日から2026年2月10日まで

第 3 期 決算日：2026年2月10日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは実質的に、米ドル建てまたはユーロ建てCLO(ローン担保証券)のメザニン債(メザニン・トランシェ)およびハイ・イールド債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	10,709円
純資産総額(期末)	15,092百万円
騰落率(当期)	+9.0%
分配金合計(当期)	320円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

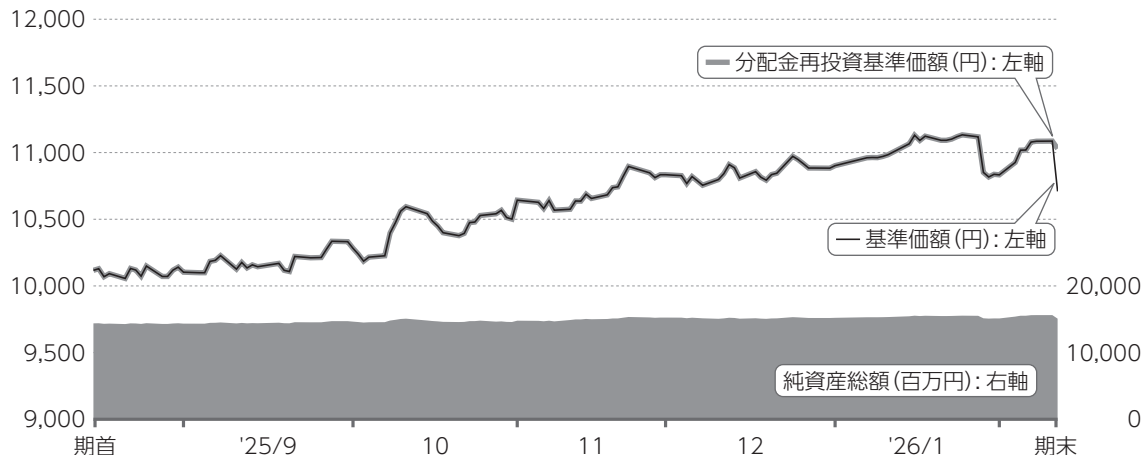
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,117円
期末	10,709円 (既払分配金320円(税引前))
騰落率	+9.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に、米ドル建てまたはユーロ建てCLO(ローン担保証券)のメザニン債(メザニン・トランシェ)およびハイ・イールド債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用しました。

実質組入外貨建資産に対しては、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- CLOから生じたインカム収益
- 日本の財政運営への警戒感が意識されたことなどを背景に、円安が進んだこと

1万口当たりの費用明細(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	51円	0.483%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は10,600円です。
(投信会社)	(20)	(0.192)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(29)	(0.274)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.002	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(-)	(-)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(-)	(-)	
合計	51	0.485	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

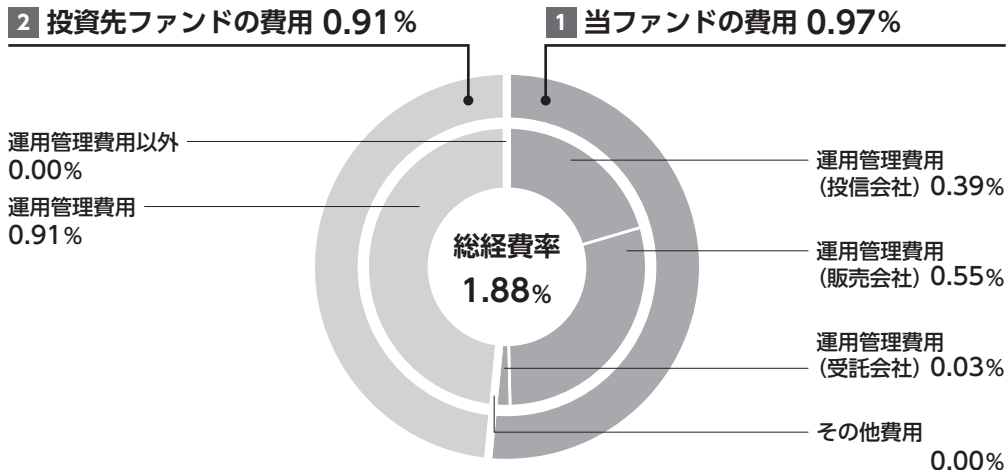
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	1.88%
1 当ファンドの費用の比率	0.97%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91%
2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

※**1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

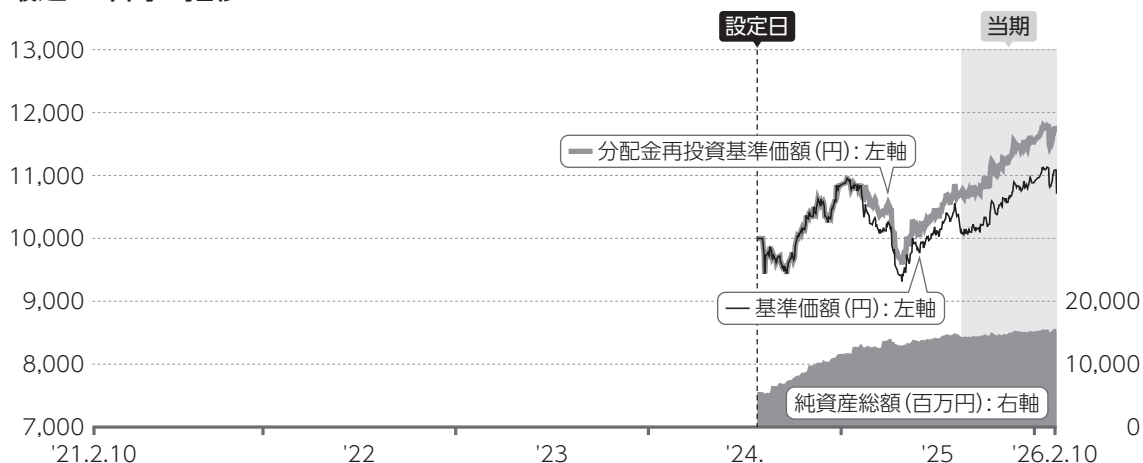
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.88%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2021年2月10日から2026年2月10日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2024年7月23日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2024.7.23 設定日	2025.2.10 決算日	2026.2.10 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,336	10,709
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	300	620
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	6.4	9.9
純資産総額	(百万円)	5,572	12,587	15,092

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

当ファンドの実質的な主要投資対象であるＣＬＯ市場(そのうちのＢＢトランシェ、以下同様)は、高水準のインカム収益を背景にプラスのリターンとなりました。米ドル／円は、期初と比較して円安となりました。

ＣＬＯ市場(ＢＢトランシェ)

期中、米10年国債利回りは、労働市場減速やデスインフレ(物価上昇率の低下)の進展を背景に、低下(価格は上昇)基調で推移しました。そのような環境の中、ＣＬＯ市場はプラスのリターンとなりました。ＣＬＯのＢＢトランシェは相対的に高水準のインカム収益を提供する資産クラスであることから、各銘柄から安定的に生じるインカム収益の積み上がりが同期間のＣＬＯ市場のリターンに寄与しました。なお同期間については、米国の経済指標が弱含んだ11月にかけてＣＬＯの裏付け資産であるバンクローンの価格が下落したこと等から、ＣＬＯ市場についても価格に下落圧力が加わりました。ＦＲＢ(米連邦準備制度理事会)が利下げを進めたことで米国の短期金利は低下しましたが、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)が拡大したため、ＣＬＯ市場の利回りは上昇しました。

為替市場

米ドル／円は、期初と比較して円安となりました。依然として日米の金利差が残る中、日本の財政運営への警戒感が意識されたことなどを背景に、円安が進みました。

ポートフォリオについて(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

当ファンド

「ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド(JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)」を主な投資対象とし、期を通じて高位に組み入れました。

ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド(JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)

当ファンドでは、期を通じてCLOを中心に組み入れを行い、分散したポートフォリオを構築するとともに、安定的かつ高水準のインカム収益の確保に努めました。格付けの観点からはBB格のトランシェを中心に組み入れを行いました。また通貨の観点からは、米ドル建てのCLOに加えて、ユーロ建てのCLOについても組み入れを行いました。なおユーロ建てのCLOについては対米ドルで為替ヘッジを行うことで、米ドル・ユーロ間の通貨変動のリスクの低減に努めました。

加えて、主にポートフォリオの流動性を向上させる観点から、ハイ・イールド債等も若干組み入れました。

●債券組入比率

当ファンドでは期を通じてCLOの組入比率を高位に維持しました。

●デュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)

当ファンドの主要投資対象であるCLOはクーポンが短期変動金利に連動する為、当ファンドのデュレーションは期を通じて相対的に低位な水準にとどまりました。

●通貨別配分

当ファンドでは期を通じて米ドル建てのCLOに加えて、ユーロ建てのCLOも組み入れを行いました。なお、ユーロ建てのCLOについては対米ドルで為替ヘッジを行うことで、米ドル・ユーロ間の通貨変動リスクを低減しました。

●格付け別配分

当ファンドでは期を通じてBB格のCLOを中心に組み入れを行いました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年8月13日から2026年2月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第3期
当期分配金	320
(対基準価額比率)	(2.90%)
当期の収益	320
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	708

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド(JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)」を主な投資対象とし、期を通じて高位に組み入れます。

ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド(JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)

当ファンドが主要投資対象とするCLOのBBトランシェは、今後も格付け対比で魅力的な利回りを提供することが可能な資産クラスであると考えています。当ファンドでは、引き続き新規発行市場及びセカンダリー市場の双方を活用し、相対的な投資

妙味が高いと考えられる銘柄を選別するとともに、分散したポートフォリオを構築して運用を行う方針です。

またポートフォリオ構築にあたっては、米ドル建てのCLOに加えて、ユーロ建てのCLOについても投資対象とすることで、より広範な投資機会の確保に努めます。なお、ユーロ建てのCLOについては対米ドルで為替ヘッジを行うことで、米ドル・ユーロ間の通貨変動のリスクの低減に努めます。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

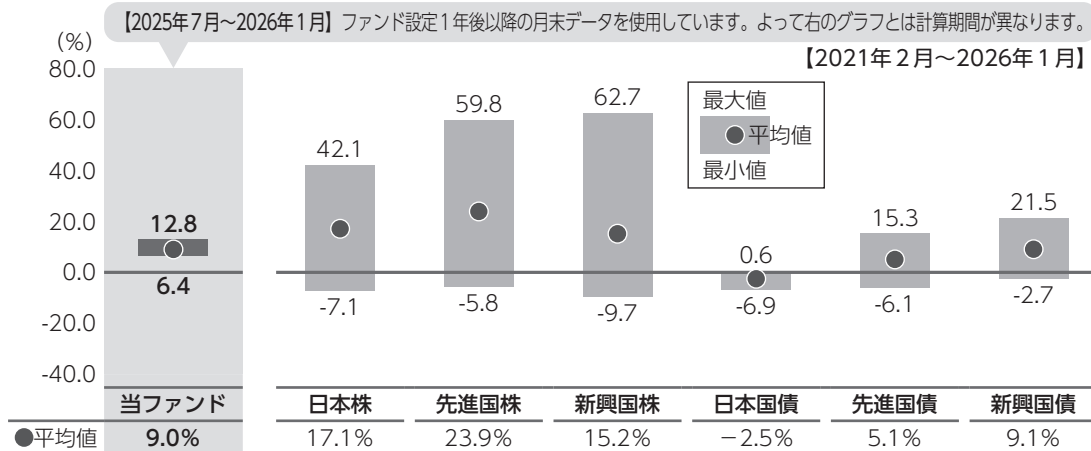
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(ローン担保証券)
信託期間	2024年7月23日から2034年8月10日まで
運用方針	実質的に、米ドル建てまたはユーロ建てCLO(ローン担保証券)のメザニン債(メザニン・トランシェ)およびハイ・イールド債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド (JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス) 米ドル建ておよびユーロ建てのCLO(ローン担保証券)のメザニン・トランシェ、ハイ・イールド債券 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、米ドル建てまたはユーロ建てCLO(ローン担保証券)のメザニン債(メザニン・トランシェ)に投資します。 ■実質的な運用は、非投資適格クレジット証券の運用に強みをもつニューバーガー・バーマン・グループが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年2月および8月の10日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ■分配金の再投資は受け付けません。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
 ※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。
 ※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

配当込みTOPIX (TOPIX (東証株価指数、配当込み))

日本株 日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)

先進国株 MSCI Inc. が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)

新興国株 MSCI Inc. が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI (国債)

日本国債 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

先進国債 FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進活動を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

新興国債 J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。同指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利はJ.P. Morganに帰属します。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

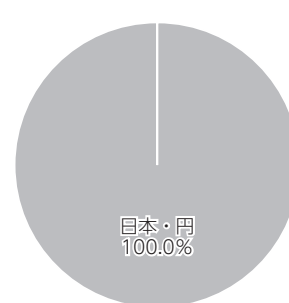
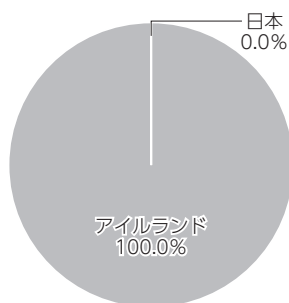
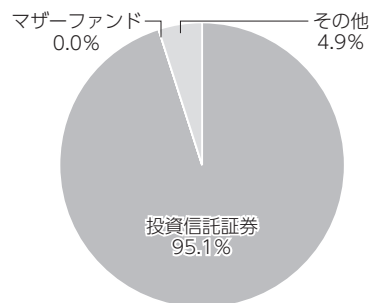
当ファンドの組入資産の内容(2026年2月10日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド (JPY 1・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)	95.1%
マネー・トラスト・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	4.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第3期末 2026年2月10日
純資産総額 (円)	15,092,360,966
受益権総口数 (口)	14,093,751,207
1万口当たり基準価額 (円)	10,709

※当期における、追加設定元本額は538,550,483円、解約元本額は664,111,189円です。

組入上位ファンドの概要

ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド(JPY |・ディストリビューティング・アンヘッジドクラス)
(2024年1月1日～2024年12月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「ニューバーガー・バーマンCLOインカムファンド」の情報で、ニューバーガー・バーマン・グループから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース
※当社でデータ入手が可能となった2024年8月5日を100として指数化しています。

1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

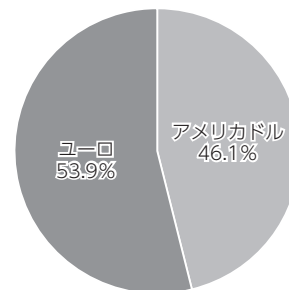
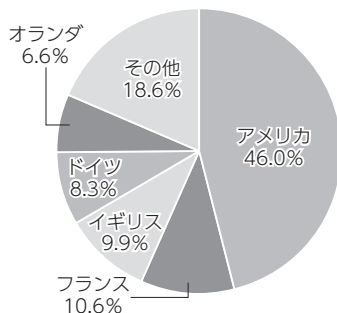
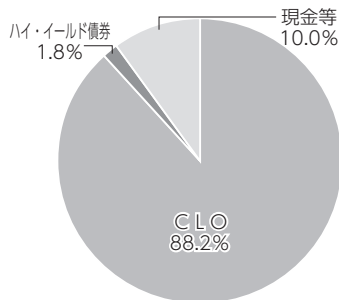
組入上位銘柄

(基準日：2024年12月30日)

	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	ARBR 13X E	8.9%	2038/8/15	0.9%
2	AGL 2024-37X E	9.1%	2038/4/22	0.7%
3	TRNTE 7X E	9.3%	2037/7/25	0.6%
4	GLME 5X E	8.0%	2034/4/20	0.6%
5	BCC 2024-4X D1	7.4%	2037/10/23	0.6%
6	AQUE 2024-10X E	8.5%	2039/1/18	0.6%
7	WTPK 2024-1X E	8.4%	2038/1/25	0.6%
8	SYMP 2024-46X E	10.0%	2038/1/20	0.6%
9	SYMP 2023-39X ER	9.8%	2038/1/25	0.6%
10	TREST 2024-7X E	9.9%	2037/10/25	0.6%
全銘柄数			321銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(ポートフォリオ比)



※国別配分は、組入CLOトランシェの裏付資産に関する情報です。構成比率は、組入CLOトランシェの裏付資産(時価総額)を100%として計算した値です。
※基準日は2024年12月30日です。